

新穂

資料館 友の会だより

第五十九号

山田武夫

コレクション(1)

展示期間

令和7年5月11日(日)まで

主催 新穂の歴史と民俗を考える会

展示品鑑賞会を開催します

令和7年4月20日(日) 10時から

現在開催中の企画展ですが、展示作品の解説を含めた鑑賞会を開催してほしいという声をいただきました。

そこで作品や作者についてキャプションを作成した担当から、エピソードを含めてお話しすることとしました。専門家ではありませんので、より詳しい方がいらつしやいましたら、ご意見を頂戴しながら進めたいと思います。

展示作品の一部をご紹介します

展示室①(正面入り口右手)

土田麦僊	雉子(素描)
常山窯(三浦常山)	絵皿
真野窯(田川吾川)	細口花生
鶴子窯	灰釉壺
小平窯(三浦小平)	杯五種
島窯(依田久仁夫)	青瓷コーヒール碗

島窯の依田久仁夫氏は現在、軽井沢在住です。佐渡では島集落の高野喜久雄の生家に住み、長浜数右衛門に師事して陶芸に向き合いました。氏は佐渡について次のように述べています。

人々は良くも悪くも隣人を大切に助け合って生きていた。
その島は牧歌的で居心地の良い抱擁としての村だった。そこではすべてが島の中で完結していたといっている。

展示室②(正面入り口左手)

佐山大業	書軸
秋野不矩	日本画 淡紅梅
吉岡堅二	日本画 鶺鴒の図
本間守拙	書軸
宮田藍堂	書軸
佐々木象堂	日本画 鶏図

高野喜久雄	詩碑原稿
高橋信一	版画
菱川勉	水彩画
土屋比我子	拓本

多岐にわたるコレクションは山田氏の趣味嗜好だけではなく、佐渡に関わる芸術家を応援しようとする心の現れであるかのようにも感じられます。

(稲穂のつぶやき)

展示をご覧いただいた来館者の方々から「山田さんの作品は展示しないのか」と、たびたび問われます。

山田武夫氏の作品は次回の企画展(5月24日〜6月22日 予定)で公開します。初期の陶芸作品から晩年の県展賞受賞作まで作風の推移が分かるような展示をしたいと思っています。(若)

新穂歴史民俗資料館

0259(22) 3117

※入館料 大人200円 小中学生100円

(ただし、佐渡市民で65歳以上の方は無料となります。確認できる運転免許証などをご用意ください。)

※月曜休館・入館は午後4時半まで

(月曜祝日の場合は翌日休館)

【令和7年4月10日 発行】